

善意の窓

2月18日現在

市の社会福祉事業、善意銀行、教育事業などに、次の方々からご寄付がありました。(敬称略)

ありがとうございました

- 右近 勝義 (中野島)
- (故) 岩城 秀雄 (森野新)
- (故) 土田 悦子 (上小泉)
- (故) 石坂 和子 (清水町)
- (故) 高緑助一郎 (辰野)
- 中川 昭男 (田中町)
- 土田 信義 (上小泉)
- 中川 繁次 (上島)
- 松井 久透 (本江)
- 斉藤 学真 (改養寺)
- 石倉 久雄 (野町)
- 池森 幸正 (荒俣)
- 松田 宗秋 (荒俣)
- 毛利 昭二 (上小泉)
- 土肥 鶴信 (堀江)
- 大澤 健一 (横道)
- 森 吟一 (上小泉)
- 中川 秀加 (下島)



人口と世帯 17.2.1現在

人口	34,302	(前月比 +13)
男	16,572	(前月比 -1)
女	17,730	(前月比 +14)
世帯数	10,946	(前月比 +5)

1月中の異動

転入	57	出生	29
転出	47	死亡	26

滑川市内の交通事故状況

	今年 (2/21現在)	昨年同期
事故件数	28件	30件
死者	0人	0人
負傷者	34人	35人

市民バスケットボール大会 (2月20日)

市総合体育センターとサン・アビリティーズ滑川で、市民バスケットボール大会が行われました。

小学生、一般の各男女の部に分かれて、市内外から22チームが出場し、声援をうけながら熱戦を繰り広げました。



滑高展 (2月2日~6日)

滑川高校生徒の美術、書道、写真、茶華の各クラブ活動と授業で取り組んだ作品を展示する滑高展が図書館で行われました。

会場には、訪れたひとの目を引く約120点の作品が展示され、また5日には茶華部の生徒が、呈茶で来場者をもてなしました。



市民水泳フェスティバル (2月13日)

市民水泳フェスティバルが滑川室内温水プールで開かれ、子どもから大人まで約100人が参加しました。

参加者は、自由形や平泳ぎなどの記録に挑戦した後、遊びの部で、水の中をいきいきと玉入れや宝さがしなどのゲームを楽しみました。



海洋深層水分水施設オープン (1月30日)

深層水原水のほかミネラル脱塩水など7種類の機能水に分水することができる滑川海洋深層水分水施設(アクアポケット)が、坪川新地内の滑川漁港横にオープンしました。

分水用の蛇口から各種深層水をペットボトルに入れる「通水式」は、寺家小の児童たちによって行われ、施設の完成を祝いました。

またオープンを記念し、ほたるいかミュージアム周辺では深層水を使った屋台村が出店したほか、お笑いライブや深層水大鍋の無料の振る舞いなど多くのイベントが行われました。



「時計台の鐘」のレコード発見



市内(山王町)出身の音楽家、高階哲夫さんが、大正12年に作詞・作曲した歌曲「時計台の鐘」のSP盤レコードが札幌市で見つかり、このほど市立博物館で購入しました。

高階さんは近代音楽の先駆者であり、札幌を舞台にしたこの曲は、初めて作詞作曲を手がけた歌曲。

今回購入した中には、高階さんがピアノ伴奏し、妻ます子さんが独唱する現存数の少ないものもあり、博物館ではSP盤レコードを音源にしたCD化を検討しています。

高規格救急車を導入 (1月24日)

災害時でも対応可能な高規格救急車が市消防本部に導入され、市役所前で入魂式が行われました。

高規格救急車は排気量が3500ccの四輪駆動、気道確保用資機材や心電図・血圧などの観察用モニターのほか、高度救命処置用の資機材が備わっており、購入価格は約3300万円。

入魂式の後、心肺が停止した患者を想定した訓練も行われました。

